

令和 6 年度

(中学校・義務教育学校後期課程向き)

読書の旅へでかけよう！

学校司書おすすめの本

テーマ「伝える 伝わる」



『見るだけで楽しめる！
新装版 平城京のごみ図鑑
最新研究でみえてくる奈良時代の暮らし』
奈良文化財研究所/監修
河出書房新社 210

奈良時代、ごみは土に埋めるか水に流すのが主流だった。出土した「ごみ」からは、たくましく生き生きと生活する人々の姿が見えてくる。



『南極の食卓
女性料理人が極限の地で見つけた暮らしの知恵』

渡貴淳子/著
家の光協会 297

南極越冬隊は次の隊が来るまで1年間、何があっても帰れない。食材準備、ゴミを出さない工夫他、調理隊が挑戦した南極の楽しみ方をみてみよう。



『きみの人生はきみのもの
子どもが知っておきたい「権利」の話』
谷口真由美 荻上チキ/著
NHK 出版 369

この本は、困ったときの解決方法として、「権利」という考え方を紹介している。24の身近な悩みが載っていて、参考になりますよ。



『オタク六法』
小林航太/著
KADOKAWA 320

SNS が普及している中、私たちは知らない誰かを傷つけているかもしれない。推し活をしている人も、これからしてみたい人も知っていて得する情報が満載。



『カメラにうつらなかった真実
3人の写真家が見た日系人収容所』
エリザベス・パートリッジ/文
ローレン・タマキ/絵
松波佐知子/訳 徳間書店 334

真珠湾攻撃の後、アメリカ在住の日系人が強制収容所に収監された。何があったのか、立場の違う3人のカメラマンの視線が語りかけてくる。



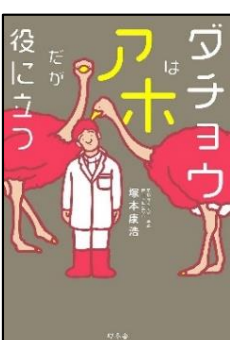
『世の中は奇跡であふれている
前向きになれる確率の話』
鳥越規央/著
WAVE 出版 417

数字を味方につけてみませんか。確率を知ると、思い込みを捨てて新しい世界を見つけられるかも!? タメになる雑学もいっぱい。



『プロの履歴書からわかる
生きものの仕事』
松橋利光/著
山と溪谷社 480

生きものの仕事をする人がどうやってその仕事についたかを調べた履歴書形式の一冊。夢をかなえるために、努力して工夫して苦労して……。読みごたえあり。



『ダチョウはアホだが役に立つ』
塚本康浩/著
幻冬舎 646

自分の家族も覚えられない、ケガをしても気づかない……。そんなアホなダチョウだけど、色々なウイルスの抗体を体内で生み出すすごいパワーをもっているのだ!!



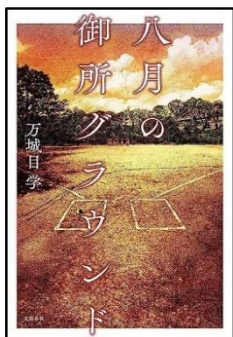
『ナカスイ！
海なし県の水産高校』
村崎なぎこ/著
祥伝社 913

「普通」からの脱却を目指して水産高校に入学したさくら。マニアックな先生や同級生にもまれながら成長していく、まさに青春譚！



『リカバリー・カバヒコ』
青山美智子/著
光文社 913

小さな公園の古びたカバの遊具。このカバには、身体の悪い所を直してくれるという都市伝説が……。心がほっとするあたたかな連作短編集。



『八月の御所グラウンド』
万城目学/著
文藝春秋 913

草野球の試合に毎回来てくれる、見知らぬ助っ人の正体とは？不思議で少し切ない物語。表題作の他、高校女子駅伝の不思議な話も収録。万城目ワールド全開!!



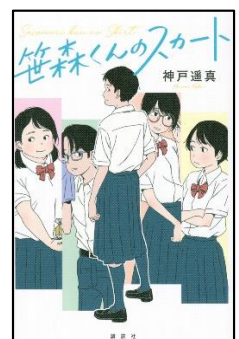
『成瀬は天下を取りにいく』
宮島未奈/著
新潮社 913

コロナ禍で閉店を控えるデパートに毎日通い中継に映る。M-1に出場し天下を取る。200歳まで生きる……。他人がどう思おうがかまわない！こうと決めたら我が道を突き進む！それが成瀬だ!!



『きみの話を聞かせてくれよ』
村上雅郁/作
カシワイ/絵
フレーベル館 913

新船中学の生徒たちの抱えるモヤモヤした気持ちが、話すことで整理されて楽になっていく。7人の視点からの短編集。優しい気持ちが残ります。



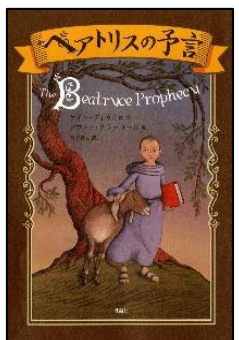
『笹森くんのスカート』
神戸遥真/著
みずす/絵
講談社 913

人気者の笹森くんが、ある日突然スカートをはいてきた。どうして？ LGBTQ? と、ざわつく同級生たち。笹森くんの気持ちとは…。



『いとエモし。
超訳 日本の美しい文学』
koto/著
サンクチュアリ出版 918

今も 2000 年前も「エモい」と感じることは同じ。枕草子や万葉集、徒然草などを現代版に超訳し、美しいイラストとともに圧倒的世界観で、わたしたちを日本の古典作品の世界へ誘う。



『ベアトリスの予言』
ケイト・ディカミロ/著/
ソフィー・ブラッコール/画
宮下嶺夫/訳 評論社 933

この国には予言書があった。「ある日、ひとりの少女があらわれて、悪しき心を持った王を追放するだろう」読み書きができる人が限られた時代に少女は愛する仲間と立ち上がる。



『明日の国』
パム・ムニョス・ライアン/作
中野怜奈/訳 静山社 933

入団テストを受けるための出生証明書がないサッカー少年マックス。百の橋がある村サンタマリアの歴史、消えた母親、明日を信じて前に進む少年の冒険と成長の物語。



『西の果ての白馬』
マイケル・モーパーゴ/作
ないとうふみこ/訳
徳間書店 933

古い言い伝えを大切にしているイギリス西部の村が舞台。自然から力をもらい力強く生きる人々の5つの物語。「はじめに」から順番に読むと、一つの大きな物語に。